



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月20日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 CEO (氏名) ジョン・キム

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 白井 康平

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	18,810	12.9	1,937	1.0	1,976	3.1	1,281	1.8
2022年12月期第3四半期	16,663		1,917		1,915		1,258	

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,434百万円 (1.4%) 2022年12月期第3四半期 1,414百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	133.03	
2022年12月期第3四半期	130.64	

2022年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	20,992	12,495	59.5
2022年12月期	19,960	11,398	57.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 12,495百万円 2022年12月期 11,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		15.00		15.00	30.00
2023年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,480	11.1	1,760	3.0	1,780	5.2	1,138	7.7	118.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	9,644,554 株	2022年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	8,717 株	2022年12月期	8,717 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	9,635,837 株	2022年12月期3Q	9,635,854 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月～9月）における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の本格的な再開が加速したことに加えて、水際対策の緩和によるインバウンド需要の回復も消費の回復を後押しする結果となりました。その一方で、人手不足の問題の深刻化、資源価格や為替の変動による物価の上昇、人件費の高騰などが与える様々な価格への影響も懸念されており、社会全体が依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「We make people happy.」「アイスクリームを通じて、人々に幸せをお届けします。」を企業理念に、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと「FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）」に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めております。

また、引き続き、先ずお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、当社グループの長期経営計画（4本の柱：ブランドパワー強化・デジタル化・スマート31・販売拠点拡大）を推進しています。

<ブランドパワー強化>

ブランドパワー強化として、お客様のデマンドに合わせたマーケティング、サーティワンらしいプロモーションを行いました。具体的には、毎月の「新作フレーバー」として専門店ならではの魅力的なアイスクリームを新発売し、選ぶ楽しさを提供するとともに、商品ラインナップを強化いたしました。また、お子様をターゲットにした「サーティワンパスポート」、日本上陸50周年を記念した「サーティワン BOX」、テイクアウト需要に応える「フレッシュバック」も「Happiness Box」と合わせて発売しました。コラボレーションにおいては、当社同様に日本上陸50周年の「キットカット」、お客様から高い評価を受けている「スプラトゥーン3」「ポケモン」、そして「スーパーマリオ」との初のコラボレーション実現にも成功しました。

新店舗デザインでは「F1 (Flavor 1st)」、「MOMENTS」導入による店舗イメージの刷新を進めるため、店舗の全面改装を当第3四半期末時点では102店実施し、新店舗を含め新デザインの導入店舗数を395店舗としました。また、新デザインに合わせて新ユニフォームも導入しました。

<デジタル化>

デジタル化施策としては、予約受付も取り入れたモバイルオーダーを推進するとともに、全店のPOSシステムのリニューアルも実施したことで、お客様の利便性向上に努めています。また、コミュニケーションツールの会員制アプリ「31Club」の会員数が、710万人を超えました。会員の購入額は売上全体の33%を占めており、会員でない方に比べ購入額も30%以上多くなっています。

<スマート31>

スマート31施策として、サプライチェーン・マネジメントの最適化で昨今のコスト上昇を抑制し、お客様がお買い求めになり易い価格での提供に努めています。組織に関しては、引き続きリモートによる就業やペーパーレス、従業員福利厚生の拡充など働き方改革による最適化を行っています。また、オフィスや生産工場、そして店舗でも、エネルギーの効率的な使用に努めております。店舗においては、包装材料の見直しによるスプーンの軽量化を実施いたしました。

<販売拠点拡大>

店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、立地や利用シーンの多様化に着目した持ち帰り専門店『To Go 専門店』を昨年3月に出店し、現在、主要都市を中心に10店舗出店しております。また、大学のカフェテリア、野球場や行楽地、水族館やサービスエリアへの出店など、消費者の購入機会を増やすよう積極的に取り組んだ結果、当第3四半期末販売拠点数は国内外合わせて1,356ヶ所と、前年同期末に比べ63ヶ所増加となっています。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、同期間過去最高の小売売上高の伸長に牽引され、188億10百万円（前年同期比112.9%）となりました。小売売上高は長期経営計画の4本の柱に加え、お客様が購入し易い価格での提供をしたことで、同期間過去最高を記録しました。併せて、下記の4つのことを成し遂げることが出来ました。

- ・一店舗当たりの小売売上高が過去最高を記録。
- ・25ヶ月連続既存店売上高増を達成。
- ・月間小売売上高を2ヶ月連続過去最高を達成。
- ・当社グループの卸売上高が過去最高を記録。

売上原価は90億62百万円（前年同期比116.9%）となりました。原料費の高騰並びに円安の影響に伴う売上原価の増加がありましたが、サプライヤーと協働して品質を保ちつつ原料調達コストを抑制したことと、工場での製造管理の最適化や生産スピード向上による製造原価低減を進めたことにより、前年同期間と比較して3億円ほどのコスト増に留めることが出来ました。その結果、売上の伸長に比べて売上原価の抑制が図られ、売上総利益は97億47百万円（前年同期比109.4%）となりました。

販売費及び一般管理費については、まん延防止等重点措置発令下にあった2022年第3四半期累計期間と比較して積極的な売上獲得のためデジタル広告の出稿を増加したこと、さらに日本上陸50周年記念のキャンペーンを展開したことにより、広告宣伝費が増加しましたが、その効果もあり小売売上高を前年比114.4%と伸ばすことが出来ております。また、売上が増加したことによる物流費等の販売費の増加、販売拠点拡大のための活動費の増加、新規に出店した直営店の管理費の増加など、将来の売上獲得につながる活動も行い、前年同期間と比べて8億18百万円増加の78億10百万円となりました。

以上の結果、営業利益は19億37百万円（前年同期比101.0%）となりました。これは、外的要因とビジネス成長に伴うコスト上昇を加味した連結業績予想に沿うものです。

また、経常利益は19億76百万円（前年同期比103.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億81百万円（前年同期比101.8%）となり、こちらも連結業績予想に沿っております。

なお、当社グループはアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ10億31百万円増加の209億92百万円となりました。これは主に、売掛金及び未収入金が減少し、現金及び預金が増加したことによるものであります。

総負債は前連結会計年度末に比べ65百万円減少の84億96百万円となりました。これは主に、未払金の減少6億16百万円、未払法人税等の増加1億97百万円及び契約負債の増加1億85百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ10億97百万円増加の124億95百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が12億81百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月10日に公表いたしました「2022年12月期決算短信(連結)」の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2023年10月20日)に公表いたしました「2023年12月期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,797,136	6,687,955
売掛金	1,849,505	1,399,664
製品	959,041	1,439,600
原材料	519,109	525,257
貯蔵品	369,375	539,937
前払費用	300,837	403,945
未収入金	632,582	492,037
未収消費税等	45,082	-
その他	187,245	216,632
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	10,659,905	11,705,025
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,227,882	4,255,484
減価償却累計額	△2,259,215	△2,373,458
建物(純額)	1,968,666	1,882,025
構築物	444,950	444,950
減価償却累計額	△288,774	△302,659
構築物(純額)	156,175	142,290
機械及び装置	4,239,534	4,249,653
減価償却累計額	△3,491,375	△3,649,715
機械及び装置(純額)	748,158	599,938
賃貸店舗用設備	4,438,045	4,393,051
減価償却累計額	△2,945,172	△2,647,544
賃貸店舗用設備(純額)	1,492,873	1,745,506
直営店舗用設備	655,711	711,972
減価償却累計額	△113,718	△151,271
直営店舗用設備(純額)	541,992	560,701
車両運搬具	62,259	64,026
減価償却累計額	△35,841	△42,965
車両運搬具(純額)	26,417	21,061
工具、器具及び備品	710,369	741,165
減価償却累計額	△606,112	△632,136
工具、器具及び備品(純額)	104,256	109,028
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	3,018	47,651
有形固定資産合計	5,736,921	5,803,566
無形固定資産		
のれん	209,046	221,166
その他	411,737	445,330
無形固定資産合計	620,784	666,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
投資その他の資産		
破産更生債権等	27,499	23,218
長期前払費用	404,267	263,124
繰延税金資産	255,945	225,124
敷金及び保証金	2,156,976	2,191,875
その他	113,686	127,988
貸倒引当金	△15,265	△13,903
投資その他の資産合計	2,943,110	2,817,428
固定資産合計	9,300,816	9,287,492
資産合計	19,960,721	20,992,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	656,560	777,516
1年内返済予定の長期借入金	230,012	230,012
未払金	2,887,302	2,270,708
未払法人税等	260,760	457,925
未払消費税等	-	33,830
契約負債	1,657,709	1,842,897
預り金	204,983	236,838
賞与引当金	67,473	136,213
役員賞与引当金	42,200	63,975
その他	225,987	236,167
流動負債合計	6,232,989	6,286,085
固定負債		
長期借入金	744,082	571,573
退職給付に係る負債	74,021	86,381
役員退職慰労引当金	59,600	37,094
資産除去債務	150,200	166,561
長期預り保証金	1,290,854	1,337,106
繰延税金負債	10,626	11,977
固定負債合計	2,329,384	2,210,694
負債合計	8,562,373	8,496,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金	241,079	241,079
利益剰余金	10,390,557	11,335,188
自己株式	△17,519	△17,519
株主資本合計	11,349,403	12,294,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,579	△489
繰延ヘッジ損益	△60,710	7,034
為替換算調整勘定	112,234	195,158
その他の包括利益累計額合計	48,944	201,703
純資産合計	11,398,347	12,495,737
負債純資産合計	19,960,721	20,992,517

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,663,609	18,810,280
売上原価	7,753,757	9,062,641
売上総利益	8,909,852	9,747,639
販売費及び一般管理費	6,992,321	7,810,553
営業利益	1,917,530	1,937,085
営業外収益		
受取利息	433	71
為替差益	17,753	10,667
受取ロイヤリティー	15,726	30,697
受取報奨金	-	16,950
その他	14,560	7,186
営業外収益合計	48,474	65,574
営業外費用		
支払利息	8,142	7,003
店舗設備除去損	42,032	19,466
その他	25	128
営業外費用合計	50,200	26,598
経常利益	1,915,803	1,976,061
特別利益		
固定資産売却益	157	-
特別利益合計	157	-
特別損失		
固定資産廃棄損	18,491	20,207
特別損失合計	18,491	20,207
税金等調整前四半期純利益	1,897,470	1,955,854
法人税等	638,597	673,969
四半期純利益	1,258,872	1,281,885
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258,872	1,281,885
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,873	2,090
繰延ヘッジ損益	17,341	67,744
為替換算調整勘定	135,546	82,924
その他の包括利益合計	155,760	152,759
四半期包括利益	1,414,633	1,434,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,414,633	1,434,644
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

2023年10月20日開催の取締役会において、設備投資に関しまして、次の通り決議しました。

生産能力の拡大および新しい種類のアイスクリームケーキ生産のため、当社神戸三木工場構内に約30億円を投資し、工場の拡張と新たな生産ラインを導入。

当該設備が生産・営業活動に及ぼす重要な影響

当該設備投資による当連結会計年度の連結業績に与える影響につきましては軽微であり、翌連結会計年度以降につきましても、重要な影響はありません。